

草加市立歴史民俗資料館

れきみんだより vol.10



れきみん蓄音機コンサートの様子（令和2年12月開催）

魅力的な音質を楽しむ。れきみん蓄音機コンサートへの招待 ～S Pレコードの持ち込みお待ちしております～

資料館には、市民より寄贈を受けた蓄音機やS Pレコードを多数所蔵しています。

蓄音機の多くは明治時代から昭和時代にかけて製造されたものです。市内小学校3年生の社会科見学の際に、昔の道具の一つとして実際にS Pレコードを回して聴かせていましたが、もっと多くの方に聴いていただきたいとの思いから、月1回、れきみん蓄音機コンサートを開催しています。

ご年配の方には懐かしく、若い方には最新の

オーディオ機器とは違った音質を感じていただき、これまで多くの方にご参加いただいております。もちろん、希望があれば試聴は1名からお受けしていますし、ご自宅に眠るS Pレコードの持ち込みもお待ちしております。

現在は、新型コロナウイルスの感染拡大防止に伴う休館中ですが、再開後は状況を見てコンサートも再開したいと考えております。

その際は、ぜひご参加ください。



千歯扱き



足踏み脱穀機

資料館の第2展示室には、米作りに用いられた農機具を多数展示しています。今回は育った稲や麦から^{もみ こ}籾を扱き落とす^{だっこく}脱穀作業に用いられた^{せん ば}千歯扱きと^{あし ぶ}足踏み脱穀機を紹介します。

千歯扱きは、^{げん ろく}元禄年間（1688-1704）に^{せん しゅう}泉州^{たかい し}高石（現在の大阪府高石市）の^{おお さか}大工によって発明されたといわれています。脚が付いた台木の先には櫛状に歯が取り付けられており、刈り取った稲や麦の小束を歯の上から差し込んで手前に引くと籾を扱くことができます。千歯扱きは^{せん ば}「千把扱き」とも書き、その名前は「一度に千把もの稲を扱くことができる」「たくさんの歯がついている」に由来するといわれています。また、^{そう か}草加^{かな}地域では金こぎとも呼ばれました。

千歯扱きが発明される前の脱穀作業は地道で時間がかかっていましたが、千歯扱きの登場によって作業が早くなり、生産力の向上に大きく貢献しました。

^{めい じ}明治時代になると、新たに「足踏み脱穀機」が登場します。誰が最初に発明したかは諸説ありますが、早い事例としては明治43年（1910）

^{やまぐち}山口県^{ふくながしやういち}の福永章一による発明が知られ、全国各地で様々な形状の足踏み脱穀機が作られました。

資料館では、^{たいしやう}大正時代^{さいおושや}初頭に細王舎が製造していた「ミノル式親玉号」という名称の足踏み脱穀機を展示しています。細王舎は明治22年（1889）に^{か な がわ}神奈川県で創業した農機具メーカーで、様々な農機具を発明して農村作業の改善に貢献した会社として知られています。

ドラムに取り付けられた逆V字形の歯が特徴的な足踏み脱穀機は、千歯扱きと比較して脱穀できる量がおおよそ数倍に増えたそうです。踏み板（ペダル）を踏むと「ガーコン、ガーコン」と音を鳴らしながらドラムが回転するので、「ガーコン」とも呼ばれました。

戦後になると、農機具の機械化が進み、脱穀機の仕組みはコンバインへと受け継がれていきます。時代とともに変化していった農機具は、機械化の進んだ現代にもいかされているのです。

◆れきみん歳時記（令和2年10月～令和3年1月）◆
歴史民俗資料館で開催した講座やイベントなどの取組を紹介します

10月 図書館に出張展示



大変好評を博した草加松原団地の企画展を、内容を整理して中央図書館のギャラリーで展示しました。地元というだけあって、多くの方にご覧いただくことができました。

12月 イルミネーションで夜も賑やか



草加駅前いちばん通り商店会のイルミネーション事業に参加しました。夜は真っ暗な資料館ですが、今年の冬はイルミネーションのおかげでキラキラして賑やかになりました。

11月 青春を彩った森村桂作品



もりむらかつら
森村桂の半生を紹介する企画展を開催しました。会期中は多くの方にお越しいただきました。皆さんから森村桂作品の思い出についてお聞かせいただき、今なお人気の高さを感じました。

1月 再開を期して



新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、26日（火）から臨時休館となりました。事態が落ち着いて再開できることを祈るとともに、この期間を利用して展示更新を進めていきたいと思います。

◆企画展の次回予告

タイトル：「桃の節句展」

開催期間：令和3年3月9日（火）～3月28日（日）

これまで寄贈いただいたひな飾りや市民の方々が制作した可愛らしいつるし飾りを華やかに展示します。

今後の社会状況の変化を踏まえ、開催期間は変更となる可能性があります。



展示の様子（令和2年）

◆団体見学のお申し込みをお待ちしています

資料館では、団体見学のお申し込みをお受けしております。

職員の展示解説や懐かしのSPレコード鑑賞など、お時間に応じた案内プログラムをご用意しておりますので、ぜひお申し込みください。

お申し込み電話番号 048-922-0402



草加市立歴史民俗資料館
facebook やってます！！



皆さんに草加市の歴史や文化、資料館の活動を伝えたくて公式フェイスブックページを開設しています。様々な情報を発信していきますので、ぜひご覧ください！

草加市立歴史民俗資料館

市公式ホームページ内の SNS ページまたは隣の QR コードからアクセスすることができます！

草加市立歴史民俗資料館

【開館時間】 午前9時～午後4時30分

【休館日】 月曜日（祝日または振替休日の場合は翌平日）
年末年始

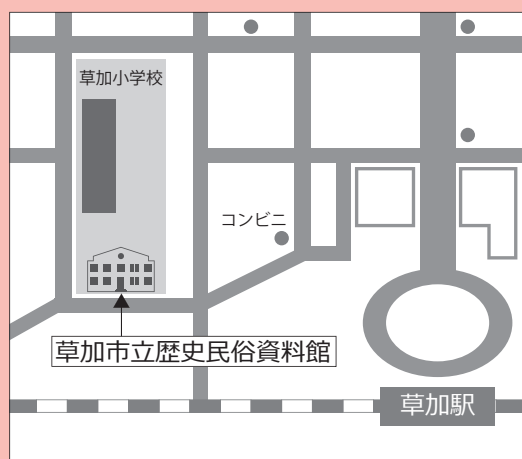
【入館料】 無料

〒340-0014

埼玉県草加市住吉一丁目11番29号

TEL:048-922-0402 FAX:048-922-1117

E-mail:sokarekimin@city.soka.saitama.jp



東武スカイツリーライン「草加駅」東口徒歩7分
駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。

れきみんだより vol.10

発行日：令和3年（2021）2月20日 編集・発行：草加市立歴史民俗資料館